

令和6年竹田市教育委員会第5回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和6年5月7日（火）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員

教育長	志賀 哲哉
1 番委員	進 みづほ
2 番委員	吉野 聖子
3 番委員	岡 茂樹
4 番委員（教育長職務代理者）	甲高 幸一
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名

教育総務課長	羽田野京子
学校教育課長	渡邊 幸美
生涯学習課長	藤島 勲
まちづくり文化財課長	佐藤 俊郎
竹田中央学校給食共同調理場長	甲斐 正寿
歴史文化館長	佐藤 晃洋
事務局員	教育総務課課長補佐
	古澤 邦利
- 6 議事日程
 - (1) 会議録の承認 第4回定例会会議録
 - (2) 教育長報告
 - (3) 審議事項

議題第11号	令和6年度竹田市教育費予算（6月補正）要求書について
議案第12号	他の普通地方公共団体の公の施設を竹田市の住民の利用に供させることに関する協議を市長に申し出ることについて
 - (4) 報告事項
 - (5) 審査事項
 - (6) 協議事項
 - (1) 令和6年度中学校体育大会について
 - (7) 連絡事項
 - (1) 5月幼・小・中行事予定表
 - (2) 5月教育委員会関係日程（予定）表
 - (3) 今後の主な予定
 - (8) その他 各課から
 - (9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

〔開会時刻：午後 3 時 01 分〕

羽田野教育総務課長	委員の出席状況でございます。教育長及び委員 4 名出席、傍聴者はいらっしゃいません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
志賀教育長	皆さん、こんにちは。4 月 22 日の臨時議会で、教育長再任の同意をいただきました。任期は 3 年です。教育のまち竹田の創造に向けて、皆さんとともに歩み続けたいと思います。よろしくお願いします。 それでは、ただいまから令和 6 年第 5 回定例会を開会します。第 4 回定例会の会議録は、すでにお配りしていますが、質疑修正等はありませんか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは会議録を承認願えますか。では会議録に署名をお願いします。 （署 名）
志賀教育長	次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
羽田野教育総務課長	教育長報告を申し上げます。4 月 5 日、令和 6 年度大分県市町村教育長協議会第 1 回臨時会、教育委員辞令交付式、及び教育委員会第 4 回定例会。6 日、菅生地区自治会長会。7 日、別府市制百周年記念式典。8 日、1 学期始業式。9 日、中学校入学式、久住高原農業高校入学式、及び直入地域自治会長会。10 日、小学校入学式、サフラン 1 学期始業式、及び久住地域自治会長会。11 日、幼稚園入園式、竹田支援学校入学式、竹田教育振興協議会運営委員会、菅生小学校 P T A 役員会、及び白丹小学校 P T A 役員会。15 日、第 2 回校長・所長会議。16 日、第 1 回部活動のあり方拡大検討委員会、及び直入中学校 P T A 役員会。18 日、竹田市退職女教師の会総会、及び竹田市教育振興協議会評議員会。19 日、鏡処刑場鎮魂祭。20 日、退職校長会総会。21 日、瀧廉太郎会音楽会。22 日、臨時議会、第 1 回行財政改革推進本部会議、及び第 1 回大分県市町村教育長会議兼大分県教育情報化推進本部会議。26 日、定例課長会議、第 1 回部活動のあり方検討委員会及び第 1 回図書館協議会。30 日、声楽コンクール第 1 回実行委員会。そして本日、教育委員会第 5 回定例会、以上でございます。
志賀教育長	はい、教育長報告に対する質疑等はありませんか。 甲高委員。
甲高委員	はい。4 月 16 日と 4 月 26 日に部活動のあり方拡大検討委員会と部活動あり方検討委員会が行われていますが、会議の内容と進捗状況等を教えていただきたい。
志賀教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。まず 4 月 16 日の第 1 回部活動のあり方拡大検討委員会ですが、部活動の休日の地域移行の取り組みに関わって、中体連主催の各競技の大会の参加要項が結構短いスパンで変わっています。その中でも陸上の参加要領が 3 月の時点

	で中体連の役員含めて確認していたことと、4 月になってすぐに違う情報が入ってきました。そこをしっかりと確認しないと、子どもたちが中体連主催の大会に参加出来ないということになってはよくないので、陸上に関わって参加要領と参加体制を確認する会を持ったのが、4 月 16 日の拡大検討委員会の方です。簡単に内容を言うと、チーム競技に関わって今年度から陸上の地域クラブの活動がスタートしましたので子どもたちが学校からチーム競技に出るのか、地域クラブの方からも出れるのかという確認をして、地域クラブの代表の方、各学校の陸上に関わる中体連の理事に確認した会が 4 月 16 日の会です。4 月 26 日の第 1 回部活動のあり方検討委員会は、今年度、吹奏楽に加えて剣道と陸上の方で地域クラブの活動がスタートしましたので、それぞれの代表の方と各学校の部活動の顧問の方にも参加いただいて、この 1 年の活動のあり方、計画、また、地域クラブの指導者として関わってくださる方々、教職員で部活動の指導もするけれども、土曜日に地域クラブの指導者として参加してくださる方々の報酬等について確認をしたのが 26 日の会です。以上です。
志賀教育長	よろしいですか。
甲高委員	はい。
志賀教育長	他にありませんか。それでは、次に移ります。本日の審議案件は 2 件です。初めに、議題第 11 号、令和 6 年度竹田市教育費予算（6 月補正）要求書についてです。各課から説明を行い、全てが終了した後に質疑を受けたいと思います。それでは、教育総務課長、説明をお願いします。
羽田野教育総務課長	はい。要求書説明資料の 2 ページをご覧ください。教育総務課に関係するものですが、歳出のみ 7,619 千円の増額補正の要求です。10 款 2 項 1 目、小学校管理諸費ですが、竹田小学校の職員室の空調機、2 台中 1 台の故障による取替工事のため 62 万円の増額。10 款 3 項 1 目、中学校管理諸費ですが、まず工事請負費として、5,903 千円。これは、現在の竹田中学校のスクールバス乗降所の隣地に倉庫が建設され、大型車両の通行により危険となるため、グラウンドの一部を乗降所として整備するアスファルト舗装費の増額。その他負担金として、旧久住中学校の水量が少なくなり、ボーリング工事を実施するための組合員の負担金 601 千円を要求しています。それから、10 款 4 項 1 目、幼稚園管理運営費ですが、旧直入幼稚園の敷地に残っている物置小屋の解体工事費 495 千円。跡地活用で、土地を含めた売買や譲渡を見据えた周辺整理を行うため、今回追加で補正要求するものであります。教育総務課関係は以上です。
志賀教育長	渡邊学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。3 ページをご覧ください。歳入で、「デジタル田園都市国家構想交付金」内示額の変更による国費の減額が 43,000 円となっています。これに伴って歳出についても、減額された範囲内で執行してまいります。以上です。
志賀教育長	藤島生涯学習課長
藤島生涯学習課長	はい。4 ページ目の差し替え分を見ていただければというふうに思います。歳入

	についてはありません。歳出については、10 款 5 項 3 目、事業番号 354、公民館運営事業費の荻支所分です。当初 117 万円付けておりましたが、その後工事費の不足のため 125,800 円増額要求するものであります。それから続きまして 10 款 6 項 1 目、事業番号 396、保健体育総務諸費であります。今回、新規事業として大分県小学生陸上競技連合会が久住のクロスカントリーコースを使用して行う、九州地区小学生クロスカントリーリレー交流大会に対する補助金 50 万円を要求しています。補助内容としては仮設トイレ、駐車場からの警備員配置を基本としています。次に、同事業番号 396、名水マラソン大会補助金を 60 万円増額要求しております。コロナ禍以後、参加者の減少と物価高騰により昨年度は繰越金を使い切る単年度赤字の運営を行なっていたため、増額要求するものです。次に、同事業番号 396、久住クロカン補助金を減額するものです。久住クロカン大会は、日本一のマラソンコースを広く全国に知らしめることを目的に行ってきましたが、社会情勢の変化や運営も厳しくなり昨年終了したことから、本年度予算を減額するものです。先ほどの小学生の大会を含め、今後、新たな方向性を模索しつつクロスカントリーコースの活用を検討していきます。10 款 6 項 2 目、事業番号 397、総合運動公園管理費であります。これについては陸上競技場の受付及び事務室の空調が故障したことによる取付工事ということで 941 千円増額要求したものであります。以上です。
志賀教育長	佐藤まちづくり文化財課長。
佐藤まちづくり文化財課長	はい。歳入はありません。歳出のみです。10 款 5 項 8 目、374 事業の御客屋敷管理費です。御客屋敷塀改修工事として 2,183 千円要求しています。これは、御客屋敷と隣のサンリブ職員駐車場の境にある竹垣を板塀に改修するものであります。以上です。
志賀教育長	それでは、図書館について教育総務課長。
羽田野教育総務課長	6 ページをご覧ください。今年の 2 月に雨漏りが発生し、調査した結果、サッシの防水用シーリング劣化が原因であることが判明し、その補修工事を行うため、286 千円の補正要求をするものです。図書館からは以上です。
志賀教育長	それでは説明が終わりましたので質疑を受けます。 まず、教育総務課について質疑等ありませんか。 では学校教育課について、質疑等はありませんか。 次に、生涯学習課について、質疑等はありませんか。 次に、まちづくり文化財課について、質疑等はありませんか。 最後、図書館について、質疑等はありませんか。 ないようでしたら、議題第 11 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に議題第 12 号、他の普通地方公共団体の公の施設を竹田市の住民の利用に供させることに関する協議を市長に申し出ることについてです。生涯学習課長説明をお願いします。

藤島生涯学習課長	はい。議題第 12 号です。他の普通地方公共団体の公の施設を竹田市の住民の利用に供させることに関する協議を市長に申し出ることについてです。この趣旨は、地方自治法第 244 条の 3 第 2 項の規定において、大分市大在浜 2 丁目に今回、整備されました大分市大在東グラウンドを竹田市の住民の利用に供させることに関する協議を、市長に申し出るものであります。これについては、大分都市広域圏に関係する 7 市 1 町がそれぞれの施設を相互に利用できるようにするという取り組みのひとつです。ちなみに、この「大分都市広域圏」というのは、国が提唱する「連携中枢都市圏構想」に基づいて組織されたもので、大分市を圏域の中心市として、隣接する市町の一体的で持続的な発展を図るため、平成 28 年 3 月に連携協約を締結したものであります。以上です。
志賀教育長	ただいまの説明に質疑等はありませんか。 ないようでしたら、議題第 12 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	次に移ります。報告事項はありません。協議事項について、教育総務課長、説明をお願いします。
羽田野教育総務課長	協議事項の資料、2 ページをお開きください。令和 6 年度中学校体育大会についてでございます。期日は、いずれも 5 月 18 日(土)となっています。それぞれ教育長・教育委員さんの割り当てをさせていただいておりますが、これではよろしいかご協議をお願いいたします。なお、市長は出張のため不在で出席できません。副市長は竹田中学校の体育大会に立ち寄る予定ですが、挨拶等はいりませんので、市を代表してのご挨拶をよろしくお願いいたします。雨天順延は 6 時に決定いたしますので、その際は事務局から連絡いたします。協議事項は以上です。
志賀教育長	協議事項についてはよろしいでしょうか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	次に連絡事項について、教育総務課長、説明をお願いします。
羽田野教育総務課長	連絡事項でございますが、まず(1)5月の幼稚園・小中学校の行事予定表につきまして、資料の 2 ページをご覧ください。既に終わっておりますが、5 月 1 日、久住小の交通安全教室。2 日、白丹小の不審者避難訓練。8 日、菅生小の不審者避難訓練。9 日、都野小の交通安全教室、及び竹田幼稚園の避難訓練。10 日、豊岡小の不審者避難訓練及び城原小の交通安全教室。13 日、直入小の交通安全教室。15 日、菅生小の交通安全教室及び城原小の地震避難訓練。16 日、豊岡小の交通安全教室。17 日、荻小の交通安全教室及び久住小の頌徳祭。18 日、市内中学校の体育大会。20 日、南部小の交通安全教室。21 日、久住小の避難訓練。23 日、竹田小の交通安全教室、祖峰小の不審者避難訓練、城原小のアウトリーチ公演及び竹田幼稚園の芋苗植え。24 日、竹田小 5 年生及び豊岡小のアウトリーチ公演及びこの日から 1 泊となる久住小・都野小・直入小の修学旅行。31 日、直入中の不審者避難訓練。続きまして 3 ページ、5 月の教育委

員会関係日程予定表、本日定例会以降の日程でございます。5月8日、長崎市において令和6年度九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会、9日から10日、同じく長崎市にて、第74回全国都市教育長協議会並びに研究大会。12日、第58回九州高校女子ソフトボール選手権大会閉会式。13日、大分県租税教育推進協議会総会。14日、第3回校長・所長会議、及び竹田市教育委員会マスコットキャラクター表彰式。16日、文教警察委員会南部小学校訪問、及び竹田市租税教育推進協議会定期総会。17日、竹田市PTA連合会定期総会。18日、中学校体育大会、及び中川久定記念由学館賞記念講演会。20日、第1回管内教育長会議、及び美術祭管内会議。21日、竹田市民教養大学開講式、及び大分県市町村教育委員会連合会総会。22日、竹田市スポーツ協会評議会及び第1回理事会、白丹地区自治会長会。23日、定例課長会議。24日、令和6年度大分県危機管理研修会、竹田よしみ会総会、及び菅生小拡大大実行委員会。27日、サフラン協議会。28日、入山公墓所清掃登山開会式、及び竹田市教育研究会全体会。6月3日、久住高原農業高校運営協議会。そして、5日、第6回定例会。以上が教育委員会関係の日程でございます。資料の1ページに戻っていただきまして、(3)今後の主な予定でございます。①令和5年度大分県市町村教育委員会連合会総会が、5月21日の午後1時から大分市ホルトホールで行われ、教育長及び教育委員の皆さんのご出席をお願いいたします。当日は、公用車にて午前10時に本庁を出発し、グランツ竹田に向かい、市民教養講座開講式でのあいさつを終えた教育長とともに大分市に向かう予定にしておりますので、ご参集をよろしくをお願いいたします。当日の会議にかかる資料を、別紙でお配りしておりますのでお目通しください。②第6回の教育委員会定例会は、6月5日の水曜日、午後3時から2階庁議室にて予定しております。③第7回定例会は、7月5日の金曜日、午後3時からを予定しております。連絡事項につきましては、以上でございます。

志賀教育長

質疑等はありませんか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

はい。では連絡事項についてはよろしいでしょうか。それでは各課から報告事項があればお願いしたいと思います。まず教育総務課長。

羽田野教育総務課長

はい。教育総務課から報告です。学校統合の協議が継続中である城原小学校、白丹小学校、直入中学校の3校について、今年度も引き続き、自治会長会とPTA役員会あるいはPTA総会へあいさつに行かせていただきました。今後は統合検討委員会の設置に向けて説明をして、意見交換会を行っていく予定です。統合検討委員会については、昨年度、会則や構成員を定め、具体的な統合についての協議を行う統合検討委員会を設置するために、第1回の委員会のご案内を差し上げたところ、城原小学校と直入中学校については、自治会長会等から中止の申し出があり中止となりました。また、開催した白丹小学校では、会則や構成員についても意見が分かれ、委員会の設置には至らず仕切り直しとなりました。その時出された意見としては、①未就学児の保護者に対しても周知することや、意見を伺うためにも久住保育園からの代表を入れてはどうか。②白丹小と久住小だけの統合では、またすぐに複式なるので、最終的には各地域に一つの小学校という計画があるなら、都野小を含めて話をするべきだと

いうもの。③各団体の代表として来るなら意見の集約が必要だが、会議の内容も知らされていないので、それも出来なかった。などの意見が出されました。その結果を踏まえ、第1回目の統合検討委員会で話し合う内容や目的についての説明を行い、PTAとしての意見集約を行ったうえで代表の方に出席していただく形でもう一度第1回の統合検討委員会を開催したいと考えております。その中で、統合の方向性や時期などについての協議を進めていく予定です。教育総務課からは以上です。

志賀教育長

渡邊学校教育課長。

渡邊学校教育課長

はい、学校教育課からは3点あります。まず、1点目ですが、先月の定例会でご質問いただいた、新制服の購入状況です。各中学校の入学式では、出席した全ての新生入生が新制服に身を包んでいたと聞いています。助成した総数は181名、うち在校生が89名となっています。2点目です。竹田中の統合にかかる2回目のアンケートの結果についてです。お手元に資料を準備しております。市報には、個々の記述のうち抜粋したものを掲載しましたが、本日準備した資料については、回答の全てを記載していますので、取扱いに十分ご注意ください。市報でもお伝えしたとおり、「統合して良かった・よくなかった」に関する一番多い理由は、人間関係に由来するものでした。「良かった」と答えた生徒の声としては、「たくさんの人と関わることができて、考えの幅が広がった」「人間関係について学べるから」「苦手な人と関わらなくてよいから」という声がありました。また、「よくなかった」と答えた生徒の声として「人が多すぎて人との関りが難しい」「1年の時に一緒にいた友だちといれなくなったから」等の声があります。心配ごとや不安なことに関しては「良かった」と答えた生徒も記述していました。教育委員会としては「統合にかかるアンケート」としてアンケートを行ったのですが、生徒たちは進路のことや勉強に関することにも心配ごともありました。また、保護者の声も「統合して良かった・よくなかった」に関する一番多い理由は、人間関係に由来するものでした。「友だちとの関りについて等、悩んだりすることもあるが、少人数の中では経験できないようなことも経験できている」「たくさんの人と関わることで考えの幅が広がった」という声の一方で、「トラブルが増えた」「人が増えた分、子どもも保護者も関りが希薄になったように感じる」等、心配している様子もうかがえました。保護者の「職員への負担等、子どものケアをする環境がない」「先生方は対応しきれっていない部分があるのではないか」という声がある一方で、「先生もたくさんいてサポートしてくれている」という保護者の声や、生徒の声の中には「先生方のサポートが厚くなった」という回答がありました。当然ですが、生徒も保護者も個々によって置かれている状況や感じ方が異なります。生徒のアンケートは記名式ですので、どの生徒がどんな困りを抱えているか、気持ちを抱いているか、が確認できます。学校は、個人面談等を通して、生徒一人ひとりの困りに寄り添うとともに、学級としてまた、学年としての集団づくりにも活用していきます。保護者アンケートに関しては、居住地域がわかるような回答の方法で、個人が特定できませんので、個別に対応することはできませんが、統合の目的や不登校傾向にある生徒への支援の手だてに関する周知、学校への支援や指導等、教育委員会が行うべきことについては、さらに丁寧な努めてまいります。また、今後の統合に関する取り組みに活かしてまいります。学校で起こるトラブルや学習指導・支援等については、アンケートの回答内容をもとに、竹田中学校の

	学校づくり、学習指導のあり方、そしてPTAを中心とした保護者の協力体制等を整える材料にさせていただくよう、今後も指導してまいります。3点目です。竹田市教育委員会のマスコットキャラクターが決定しました。38点の応募の中から、最優秀賞は竹田中3年、酒見華望さんの「かんぼう」。優秀賞は南部小6年生、工藤龍太郎さんの「まなベル」と荻小4年生、佐藤あんさんの「たけぶー」となりました。5月14日16時30分より表彰式をおこない、6月の市報で紹介いたします。応募してくださった児童、生徒の皆様には、「かんぼう」のクリアファイルを参加賞として差し上げる予定にしております。学校教育課からは以上です。
志賀教育長	藤島生涯学習課長。
藤島生涯学習課長	はい。生涯学習課からは事業の報告と今後の事業予定となります。先月の24日にB&G体育館において第31回B&G直入カップバレーボール大会を開催しました。市内からは、竹田中、直入中の合同チーム、竹田南部中・緑ヶ丘中の合同チームが出場し、全部で7チームが出場しました。優勝につきましては、挟間中学校でした。それから、5月11日・5月12日に第58回九州女子ソフトボール選手権大会が竹田市総合運動公園竹田丸福スタジアムを主会場に開催されます。大分からは日本文理大付属高校、昭和学園が出ることとなっています。前日の5月11日（金）17時30分から、竹田市総合文化ホールグランツたけた廉太郎ホールで開会式を行いますので教育委員の皆さんもご出席をお願いします。5月21日（火）には令和6年度竹田市民教養大学の開講式がグランツたけたキナーレで行われます。今年についても多くの方が参加されるということです。生涯学習課からは以上です。
志賀教育長	佐藤まちづくり文化財課長
佐藤まちづくり文化財課長	はい。まちづくり文化財課からです。まず、4月の史跡岡城跡入場者数ですが、昨年4月より753人増の8,397人でした。また、5月28日（火）には、国指定史跡岡藩主中川家墓所（大船山入山公廟）令和6年度清掃ボランティア活動を、大分県立久住高原農業高等学校のご協力により実施します。今年は、1年生25名の参加で実施します。また、今年3月に策定した、竹田市歴史的風致維持向上計画（第2期）を、今日皆様のところに置かせていただきました。文化財保存活用地域計画とともに、大きな2本の柱として活動してまいりますのでよろしくお願いします。以上です。
志賀教育長	佐藤歴史文化館長。
佐藤歴史文化館長	はい。歴史文化館です。展示について連絡させていただきます。4月29（月・祝）から、令和6年度企画展「竹田の鉄道 百年の歩み～鉄道写真と資料が語る城下町～」展を、特別展示室・ちくでん館において開催しています。大正・昭和初期の旅行ブームが盛り上がりを見せていた大正13年（1924）に観光の拠点として豊肥本線の「豊後竹田駅」が開業し、今年（2024）は開業100年となります。豊後竹田駅は、開業から現代まで竹田の発展を支え、人・物・文化の交流に大きな役割を果たしてきました。企画展では蒸気機関車から現代に至るまでの鉄道写真や鉄道に関連する歴史的資料を展示し、竹田の鉄道100年の

	あゆみを紹介しております。豊後竹田駅や鉄道の変遷とともに鉄道を支えてきた人々に思いを想像しながら、ゆっくりとご覧いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
志賀教育長	甲斐給食調理場長。
甲斐給食調理場長	給食調理場から 1 件ございます。4 月からパンの業者は変わりまして、ニッサン製菓さんとなりました。4 月は 3 回程、木曜日がパンの日ということパン給食を実施しております。11 日、18 日、25 日の 3 回ですが、このパン給食につきましては、特段、問題ありません。パンの味の方は、学校の栄養教諭の話では、味が悪くなったという意見はなく、逆に美味しくなったという話を、児童、生徒さんたちから聞いています。今のところ順調に実施できています。また、今後につきましても、月 3 回のパン給食が実施できるように、頑張っまいますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。
志賀教育長	図書館について羽田野教育総務課長。
羽田野教育総務課長	はい。図書館からです。4 月 26 日に行われた第 1 回図書館協議会についてお知らせします。3 月に行われた協議会で決まった「館内における飲み物の取扱い」についての館内掲示のお知らせがありました。ペットボトルや水筒のように蓋つきのものであれば、座っている席で飲めるようになったことのお知らせです。もう一点、同じく 3 月に行われた協議会において図書館条例施行規則第 14 条の運用の諮問について、市の顧問弁護士の見解に基づき、汚損や棄損を繰り返す利用者が、その行為を反省し改めることなく、改善が見込めないと判断される場合、第 14 条を運用し、貸出し停止期間を 90 日とし、90 日経過後に停止措置を解除して以後の貸し出しを可能とするが、同様の行為を再び繰り返した場合は直ちに貸し出しを停止し、以後一切の貸し出しは行わないこととするという答申が取りまとめられました。今回の諮問は、具体的にあった悪質な利用者を念頭に置いたもので、貸出停止を目的とするものではなく、公共の財産を守るためのものであるとの説明がありました。図書館からは以上です。
志賀教育長	はい。それでは皆さんからご意見、質問等ありませんか。 吉野委員。
吉野委員	統合検討委員会のことについて質問します。第 1 回の統合検討委員会の案内を出す際に、事前に各団体の代表の方には、団体の意見を集約してきてもらって参加してもらおうということでしたか。例えば P T A とかだったら、事前に 1 度は、保護者が集まって何かこういう質問についての意見を取りまとめる機会を設けるといこと。設問は、その団体が作るものですか。それとも、こういうことについて協議してきてくださいという議題を投げかけるものがありますか、というのが 1 つの質問です。もう 1 つは P T A 保護者以外の他団体にもそういう意見の集約を求めるといことですか。
志賀教育長	教育総務課長。
羽田野教育総務課	はい。一度行った白丹小学校の時にそういった意見が出されて、ごもつともだ

長	と思う部分がありました。ですからまず、3校については、PTAに対して、この趣旨を説明する場と意見交換会の場を設定して、その後に行うという運びにしたいと思っています。他団体について、そこまで集約してというのは難しいかもしれませんが、こういった内容ですよという、会則とか、構成員とか、検討委員会で話し合う内容についての議題を同封して、こういった内容で話し合うということをお伝えした上で、開催しようというふうに考えています。
志賀教育長	吉野委員。
吉野委員	PTAの意見を集約する場には、教育委員会の方からは出向くことになりますか。もうPTAの方だけですか。
羽田野教育総務課長	はい。
吉野委員	はい、わかりました。
志賀教育長	よろしいですか。
吉野委員	はい。
志賀教育長	他にありませんか。 では、最後に教育委員からご意見、感想等があれば発言をいただきたいと思います。進委員からお願いします。
進委員	はい、私からは2点報告と1つ感想を言わせてください。4月10日に荻小学校入学式に行ってきました。教育委員として初めて行かせていただく入学式で、とても緊張したんですが、1年生11名、とても元気に入学してきて、2年生から6年生までのお迎えする力がすごいなと思って、私も頑張らなくちゃいけないとパワーをもらった1日でした。そして、4月30日に荻の教育を考える会に参加してきました。この中で、中学校で放課後に退職した先生が見えてくださって、学習を見てくれたりとか、家庭科のなかなか専任の先生がいらないということで、地域のお母さんたちの力を借りてだんご汁を作ったりとかしているということから、運営協議会の中で、地域代表の方とお話をして、自分たちももっと協力していかないといけないねということで、今年は学期に2回の授業参観を頑張ってみようということ、男性の地域代表の方もいらっちゃって、なかなか読み聞かせに参加して来なかったんだけど、見学からはじめて読み聞かせに参加してみようという意見が出て、私も読み聞かせに参加して、みんな協力していきたいなと感じました。それと、今日の先ほどマスコットキャラクターについてなんですが、この間たまたま菅生小学校の子どもさんと話すことがあって、僕の出したマスコットキャラクターどうだったかなっていう話が出てですね、タッキーだったかな。それがどうなったかなっていう話で、子どもが楽しみに結果を待っているっていうのがすごくうれしくて、今日応募した子どもさんにはクリアファイルをプレゼントということで、よかったなと思いました。でき上がったクリアファイルを見せていただければ嬉しいです。以上です。

志賀教育長

はい。吉野委員お願いします。

吉野委員

私も、直入中と直入小の入学式に参加させてもらいました。どちらも、新入生の方も迎える側も大変立派な態度で、これからに期待ができるなというふうな感想です。また入園式、南部幼稚園の方に行かせてもらったんですが、入園児がはつらつとしてるのはもちろんのことなんですけど、スクールガードの方がとてもたくさん来ていただいたり、お話ができて、入園式でも、見守っているから安心して通ってください、元気に来てくださいっていうふうに言ってくれたのがとても心強いなというふうに思いました。また、教育を考える会の方にも参加させてもらいました。授業は小学校で見たんですけど、どのクラスも安心して見ていられる、本当に頼もしい姿だなと思いました。中学校の方からの報告で、中学1年生が4月に早速、あそび学舎で宿泊研修をしたという話だったんですけど、遡ってその学年がまだ宿泊研修をしていなかったのが、是非、早いうちにさせようというふうに考えたというふうにお聞きしたので、そういうところも確認して、何が一番必要かっていうので、考えてくださったんだなってありがたかったです。中学校で、全校での登山を計画してくださっているようで、縮小傾向にあった行事が全般的に見直されて、吟味されて、必要なものが実施されるということが大変ありがたいなという風に思いました。また、前回のこの会のときに、学校の教育活動に協力してくれる地域の農家さんだったり旅館さんだったり、見学に来ていいよって言ってくれるお店だったりする、その受け入れ先を、先生方が異動されてもわかるように、リスト化していくといいんじゃないかという話が前回出たんですけども、それも早速手をつけていただいている、これからまたリストにどんどん受け入れ先が増えてきたらいいなという風に感じたところです。以上です。

志賀教育長

岡委員お願いします。

岡委員

はい。連休が開けて、これから落ち着いた学校運営が行われると思いますし、子どもたちにぜひスムーズなスタートをきっていただければと思います。教育委員会も、今年度、教育ビジョンに沿った活動がこれから展開されていくと思うんですけど、その中でグローバル教育の推進っていうポイントなんですけど、少し思うことを述べたいと思います。先月、京都に行くことがありまして、ゴールドenウイーク含めて、インバウンドの賑わいのすごさは、もう目をみはるものがあります。いたるところ多国籍の方がおられて、コロナ以降、また最近ですと円安の影響とかもあって、要は私たちが学生の頃とは比較にならない、ほんとに比較にならないぐらい世界中が社会の深いところまで繋がっているなということがありまして、そういうことを意識せずに生活することはほぼ不可能に近い。そう考えるとやっぱり子どもたちにそういった世界を俯瞰したものの見方とか考え方を身につけることが大事だと思うんですけど、そのツールとしてやっぱり英語を学ぶっていうことの重要性というのが大事。教育委員会の活動として2つ提案というか、ご検討願いたいことがあって、1つは、この活動内容に書いてますように小中連携の積極的な橋渡しですね。今、小学校5年生から英語が教科として入ってて、子どもをみて楽しく学ぶことが主体なんですけど、中学に入った瞬間にbe動詞とか、一般動詞とか、急に英語嫌いになっちゃうという子が結構いる。竹田市独自として小学校1年生から中学校3年生ま

で義務教育の9年間を見通して、竹田市の子どもたちがここまで、こういったところを目指したいという目標とかそのためのプロセスなんかを、市内の小中学校の全学校の先生方と、そういう共有する場というか、それを実行していくような仕組みづくりっていうのを是非掲げていただきたい。成績だけ見るのではなく、多様性を学んだりとか楽しいなという心の育成を含めてそういう役割を担っていただきたいなと思います。もう1つはALTの活用です。今、例えば中学校は週に1回、おそらく半日程度だと思うんですよ。1人です。竹田中学校レベルの生徒数だと、おそらくALTの方と接点を個人的に持てない生徒が相当数いると思います。少なくとも、週2回程度理想を言えばいわゆる常駐してくれて、そういった方を竹田市独自で採用していくようなことはできないか。いわゆる英語は習うより慣れろっていうし、今英語が苦手な子とかも、ネイティブと交わり繋がる喜びを味わうこと、多分そのもう1回やりたいなっていう気持ちが一番いいモチベーションではないか。当然、英語をベラベラしゃべる必要はないし、英語を通して世界観を身につけるっていうことが一番大事だということ、そういったことも含めてです。先ほどから出た統合の話もそうなんですけど、例えば、統合して、人数が増えて、トラブルが増えて、結果先生が大変になった、そういう訳にはいかない。そういう意味で言えば、人とか物とかお金とか、限られた資源をいかに効果的に投資していくか。そういったところでALTを独自に増員したりとかして、子どもの学びのためにできる限り環境を整えていく、議論が子どものメリットになる前向きな統合のビジョンっていうのを描いていく活動がやっぱり要るのかなあとと思います。以上です。

志賀教育長

甲高委員をお願いします。

甲高委員

はい。先ほどから言っております入学式についての感想を述べさせていただきたいと思います。1点、質問なんですけれどももちろん教育委員会で考えていただいて、対応していただいていると思うんですけど、竹田中学校のスクールバスの乗降所の設置ということで、グラウンドのどの辺に予定してるか一応聞いておきたいというのと、もう1つは入学式のことについてなんですけど、私は初めて緑ヶ丘中学校に行かさせていただきました。一応地域の担当ということで私の方も竹田地域の中学校に多く参加していたんですけど、今回、緑ヶ丘中学校に行かせていただきました。また、それぞれの学校の特色を持ったやり方でやってるんだなあという、改めて違う学校に行って、感じる事ができたかなあと、非常にいい入学式だったなあという感想です。豊岡小学校にも行かせていただいたのですが、豊岡小学校は、児童数が少ないですけど、もの凄くまとまりのある学校だなあと感じました。全員が同じ方向を見て、校長先生があいさつするときは、全員、校長先生の方を見て、ちゃんと姿勢を正して聞いている、そういう姿がすごく印象に残った入学式でした。終わります。

志賀教育長

はい。質問幾つかありました。担当課からお答えをお願いします。教育総務課長。

羽田野教育総務課長

スクールバスの乗降所なんですけれども、国道422側の、前ソフトボールのグラウンドがあったところですよ。国道442沿いからグラウンドに入ってテニスコートまでの間、そこを幅12メートルぐらい確保します。今は使ってなくて、草が生えてる状態なんですけど、そこにバスが7台並べるような形を想定していま

す。それでただ固めるような形でいいんじゃないかと一番安価のもので相談したところ、建設課としては、大きいバスが何回もハンドルをきったりするので、初めからアスファルト舗装にして、きちんと整備したほうがいいんじゃないかとのことでした。学校側の了解ももらっておりますので、そういった方法で行おうと考えています。

志賀教育長

それでは、英語教育について学校教育課長。

渡邊学校教育課長

ありがとうございます。いくつか具体的に今年度を計画しているものについて、少し紹介させてください。岡委員の言われた交流だとか、心の壁をなくして、かかわれるというコミュニケーションという部分で、小学校3年生以上の子どもさんに対しては夏と冬に、近隣のALTさんたちに、8人から10人来てもらってキッズイングリッシュというのをしています。その中では、スキルを身につけるというよりは、いろんな国の方々と、英語を通してゲームをしたり、触れ合うという楽しさを味わっていただくという目的で行います。それから、域学連携という大学と連携している事業がありまして、そちらの方では、大分大学の留学生に来ていただいて、昨年度は小学校6年生全校の児童たちと関わっていただきました。そこでは、各出身の国の紹介してもらったり、自己紹介を中心にコミュニケーションする時間となりました。今年度は、中学生の学習に参加していただく予定です。昨年、直入中学校の2年生が未来創造プロジェクトの中で、直入町のパンフレットをWeb上で作って、それをこの二次元コードからいけますよという取組を修学旅行に行って、外国の方に、名刺ぐらいのサイズのものを配った時に、とても自分たちの英語力のなさを感じたということ、ビーコンでの発表会の中で話してくれています。それを受けて今年は中学校2年生を対象に、留学生に来てもらって、すべての学校が、初めて出会う方々とのコミュニケーション能力だったりスキルだったりを試したり、まだまだだなと実感してもらうような会を計画しております。あと、教職員に対しては、各種学力調査の中で英語の力が課題ですので、中学校を中心に研修をくみました。今年度は、岡委員さんがおっしゃってくださった小中連携に視点を当てて、小学校の先生たち対象の研修会を年3回、小中の先生たちともに参加していただく研修会を年3回、それから中学校の先生たち対象の研修会を3回というふうに、少し小学校の先生たちの授業にも力を入れていこうと計画しています。ただ、仕組みづくりというところは、全然手をつけられてないので、そのところは今年度考えていきたいと思っています。以上です。

志賀教育長

英語の仕組みづくりということですが、教育のまちと同時に、英語のまちというの、自分としてはやっていきたいと思っています。まさに今、指摘を受けた9年間通しての英語教育は非常に重要だと思っています。教育長通信「竹田の教育」以外に、実はイングリッシュタイムスという通信を書いているので、これもお送りしたいと思っています。今のご意見に関連するようなところがあります。船乗りになって英語がどうしても必要になったとか、それまで全然いらなかった人が、です。船員がフィリピン人ばかりになり、どうしても英語が必要であるとか、岡委員も詳しいと思いますが、理学療法士が資格をとるために研修に行ったら、これを学ぶ前に英語勉強して来い、と言われてたりとかするのです。大学の2040年問題とは、その頃になると留学生が70%になるので、講義がすべて英語になるのではないかとされています。そういった話を通信に載せ

ています。小学校の外国語活動が面白くて、中学の学習になると面白くないと、もし感じるのであれば、その感じている面白さというのは英語でなくて、ゲームだとか歌とかいう活動が楽しいのであって、英語が必要だから学びたいという感じではないのだと思います。中学校以降は、コミュニケーションをとれるようになるとか、英語をマスターすることが最終目的でなくて、先ほども言いましたけど、それを使って何かをするということが非常に大事だということを教えていかなければならないと思います。いわゆるキャリア教育の1つとしてやっていかなければならないことなのです。
その他、ないでしょうか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

ないようですけれども、竹田中学校の統合に係るアンケートについてちょっと踏み込んだことを言わせていただきたいと思います。1枚目の「よかった」というところの、心配事や不安なことの一番下に、「小規模校出身の児童生徒が活躍できる機会の意図的な設定」に納得できないということを書かれています。もしその通りであれば確かに、それは納得できるものではありません。ただ久住・都野は、生徒も保護者もほぼ統合してよかったと肯定的な回答をしています。去年は、久住・都野出身の子どもが生徒会の役員や体育祭の応援団長、弁論大会の代表、そういった役をほぼ独占するような感じになっていて、旧竹田中の方が、統合前にそういう主要なポジションを自分が担うつもりでいたのであれば、ちょっと不満を持つという状況があった、と聞いています。もちろんそれらは自分の実力で勝ち取ったもので、小規模校出身だから意図的に役員とか代表にしたのではないので、そういうふうな理解をされるとよくないと思っています。そういう誤解であれば、学校が解いていかなければならないと思います。それから1枚目の最後に、給食はあまり美味しくないと書かれています。食べ物の感想については、主観が大きいので、もしそうであれば調理場が努力しなければならないのですが、食材は中央も久住もほぼ一緒ですので、大きな差があるはずはありません。先入観について言わせていただくと、直入調理場が統合されたときに直入の保護者から、運搬の距離が遠くなったので、うどんが伸びていた、というご意見があったのですが、作る時間と食べる時間は、竹田小学校と一緒にしたので、そういうことはないはずですが、どうしてもイメージでそういうことが考えられると思います。統合後の最初の給食運営審議会が開かれた時には、まだ、うどんが提供されてなかったもので、あくまでイメージだったのではないかと思います。それから3ページというか2枚目の表ですけど、「大人の都合で統合」とあります。決して大人の都合で統合したわけではなくて、あくまで、子どもにとって望ましい教育環境を整備するためということを常に考えております。今、協議継続中の学校には、もちろん反対の方がおられるのはわかっています。竹田中の生徒保護者についてもはっきりと認識していただきたいことなので、統合が終わったからといって、それでよしとするのではなくて、引き続き100%に近い理解を求めていきたいと思っています。
それでは、以上で、第5回定例会を閉会します。

(閉会)

[閉会時刻:午後4時3分]